

令和7年度 産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会

第37回デザイン分科会 議事録

○概要

期 日：令和7年11月20日（木） 13:30～17:00（入室開始 13:00～）

開催形式：オンライン開催（Teams 使用）

主 催：産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 デザイン分科会

国立研究開発法人産業技術総合研究所

山形県工業技術センター

参加者数：71名

○内容

1. 開 会（司会進行：山形県工業技術センター 月本 久美子）

2. 挨 拶

- | | |
|--------------------|--------|
| ・デザイン分科会長 | 平田 一郎 |
| ・国立研究開発法人産業技術総合研究所 | 宮田 なつき |
| ・山形県工業技術センター 所長 | 境 修 |

3. 研究等発表

◆事例・研究発表

- （1）「身体適合型自転車フレームのデザイン～デジタルヒューマンを活用した設計」
兵庫県立工業技術センター 機械システムグループ 後藤泰徳
- （2）「デザインの発想力 開発編・実践編」
山形県工業技術センター 企業支援部 大場智博

◆ライトニングプレゼンテーション

- （1）「経済産業省のデザイン政策の取組について」
経済産業省 文化創造産業課 上田明弥
- （2）「ラティス構造どうつくる？」
宮城県産業技術総合センター 企画・事業推進部 商品開発支援班 篠塚慶介
- （3）「摂食介助時の動作計測に関する調査研究」
東京都立産業技術研究センター 城東支所 角坂麗子
- （4）「SAITEC デザインイノベーションセンター（SDIC）の開設について」
埼玉県産業技術総合センター デザイン支援担当 山下貴央
- （5）「「山梨らしさ」研究の紹介」
山梨県産業技術センター 甲府技術支援センター デザイン技術部 鈴木文晃

(6)「移乗・移動一体型介護支援機器の開発(第1報)」

静岡県工業技術研究所 ユニバーサルデザイン科 易強

(7)「R7年度デザインマッチング事業の進捗報告「県内企業とデザイナーの協業について」」

静岡県工業技術研究所 ユニバーサルデザイン科 辻真衣子

(8)「釉薬テストピース・データベース」

あいち産業科学技術総合センター技術支援部 瀬戸窯業試験場 安田篤司

(9)「伝統工芸品の RoHS 指令対応について」

京都府中小企業技術センター 企画連携課デザイン情報係 片瀬奈緒子

(10)「やまがたデザ縁について」

山形県工業技術センター デジタル・デザイン活用支援室 木川喜裕

(11)「デザインミュージアムジャパントツアーin 山形について」

山形県工業技術センター デジタル・デザイン活用支援室 月本久美子

4. 情報提供・事業紹介等

- ・(地独)京都市産業技術研究所の竹浪祐介氏より、12月8日(月)に開催する近畿地域部会デザイン分科会(オンライン開催)について情報提供があった。特別講演は関西・大阪万博の大阪ヘルスケアパビリオンにてブースの企画・デザインを担当されたグラフィックデザイナー・友禅作家である川邊祐之亮氏。
- ・OH'RA DESIGN STUDIO の多々良哲也氏より、資生堂企業資料館(静岡県)は今月で閉館になると情報提供があった。

5. 全体会議

- ・あいち産業科学技術総合センターの安田篤司氏より、デザイン支援機関の状況に関するアンケートの協力依頼があった。内容は、各機関のデザイン担当者の人数、新規採用者の人数と採用年度、広報以外で行っている告知・人材探しの方法、実施しているデザイン支援の業務、知的財産権の対応など。デザイン分科会のメーリングリストで依頼し、アンケート結果を取りまとめの上、春の分科会などでご報告いただく。その後、デザイン分科会として定期的にアンケートを取る仕組みが必要か検討する。

6. 連絡事項

- ・令和8年春の総会は鹿児島県を予定している。鹿児島県工業技術センターの山田淳人氏よりご挨拶があった。
- ・オンライン記念撮影。

7. 閉 会

